

## □■□あいる登録者インタビュー□■□

### 『私の働き方 Vol.2 T.Mさん』

#### T.Mさんのプロフィール

- ❖ 30歳、男性。
- ❖ 精神障害者保健福祉手帳2級。
- ❖ 保険関係の会社で勤務中。
- ❖ 勤続4年目。

T.Mさん、今日はインタビューを受けてくださり、ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

#### Q1.まず、会社でどのような仕事をしているか教えてください。

「業務内容としては、会社の各支店のデータや実績管理などをパソコンで行っています。Excelの関数や、マクロを使用することが多いです。また、業務マニュアルを作成して、新入社員にやり方を覚えてもらうためのお手伝いもしています。最近では、他の人がより使い易いようにするにはどうしたら良いかというアイデアが湧いてくるので、考える時間を取って自分で作成して提案するようになってきています。」

#### Q2.では、仕事のやりがいを感じるのはどんな時ですか？

「会議資料やデータを作ることが多い中で、自分が作った資料を部内のミーティングで使ってもらった際に、『役に立った』『ありがとう』と言ってもらえたことはとても嬉しかったことです。それが自分にしかできない仕事だと思えた時には、さらに大きなやりがいを感じます。はじめは出来ないこともたくさんありましたが、入社して3年が経ち、『もし僕がいなくなったら今の人員では僕の埋め合わせは難しいのかな?』と思うこともあります。年々自分が進歩していっているのかなと感じることができています。」

### Q3.会社で配慮いただいていること、サポート体制などについてお聞かせください

#### ❖ 状況や病状に応じた配慮を工夫してもらえる風土

「月一回あいるで面談をして、困っていることなどを話しています。以前、業務の負荷について悩んでいた時にあいるに相談をしました。自分の業務を棚卸した上で、困っていることを直属の上司に伝えたところ、やり易くしてくれたことがあります。

また、会社があいるの職員の定期職場訪問を受け入れてくれています。直属の上司はなかなか忙しいので、職場訪問時の窓口は業務部の部長ですが、困っていることを相談すると直属の上司に強く働きかけてくれて、とてもありがたい存在です。先日は体調が優れず、難聴の症状が出てしまいました。社内の方々は僕の症状を理解してくださり、電話対応業務を外してくださいました。最近ではリラックスすることと体調を整えることを目的に休憩時間の15分間、一緒にヨガをしてくれています。ヨガがはじまった時期と、体調が良くなってきた時期が重なっているので効果がありそうです。

僕の職場環境はすごく居心地が良いので、正直辞めたくないと思うほどです。」

#### ❖ 同僚との良好な関係を築き、その関係を継続していくための仕組み

「僕のいる社内には、僕と同じ障害者雇用の人はいません。部内には契約社員の方が2名いて、一緒に業務に従事しています。直属の上司である部長は、業務の負担がそれぞれ均等になるように毎日ミーティングを行うようにしてくださっていて、進捗状況を確認しています。ミーティングの際には部長から、『体調は大丈夫?』と声を掛けてもらっています。」

### Q4.これまで「障害者雇用であるからこそ、大変に思ったこと」があれば教えてください

#### ❖ 必要以上に他の人と自分の線を引きすぎてしまう自分・・・

「職場内において障害者雇用で働いているのは僕一人しかいません。最初こそ会社は僕の様子をうかがっていたように思いますが、それよりも自分自身が必要以上に他の人と線引きをしていた面があると思います。

実は今年のはじめから他の契約社員さんと話をする機会を増やそうと自ら工夫をするようになりました。

自分のことを自己申告で発信するようになったことで、部内の雰囲気が変わり、居心地がよくなりました。契約社員の方の反応も『T・Mさんは普通だよね!』と言ってくれて、驚きましたが変化を実感しています。今では2人の契約社員さんが僕の見つきを見ただけで、体調を理解してくださるようになりました。」

#### ❖ 障害者雇用についてT.Mさんの捉え方

「入ったばかりの頃は『役に立っていないけれどお金をもらっているなんて…』と思っていました。今は、3年間かけてじっくり自信を熟成してきたので、その分、自信に重みがあると感じています。僕としては、『雇っていただいている』という感覚が基本にあり、それに加えて配慮をしてもらっていると思って働いています。」

#### Q.5.今後の目標を教えてください

「目標は最初から正社員になることです。正社員に到達するために、まずは8時間働けるようになることを目指しています。そのために健康管理に手を抜かないようにしていきたいです。あまり余計なことを考えず、ステップを順々に、できることをコツコツと地道にゆっくり進めて行くことが大事だと思っています。」

#### Q.6.このインタビューを見ている方にメッセージがありましたらお願いします

「やはり職場で体調に影響をするのは対人関係です。出来るだけ敵を作らないこと、挟まれたらどちらにも加担せずに関与しないことで、ぶれずにやっていくことが大切です。どうしても嫌われちゃう人に対してはあまり気にしないようにするか、相談できる人に相談して配慮をってもらうことをおすすめします。」

T.Mさんには、お仕事帰りにあいるに来所していただき、インタビューをさせていただきました。

T.Mさん、インタビューをお受けくださりまして、本当にありがとうございました。

## OT.Mさんのインタビューを通して・・・～普段、担当させていただいている職員のつぶやき～

改めまして、T.Mさん、インタビューへのご協力ありがとうございました。お話を持ちかけた際、快く引き受けていただき、当日もお忙しい中、事前準備をした上でインタビューに臨んでくださいました。

読まれた方々にはインタビューの端々からT.Mさんのお人柄が伝わってくると思います。

T.Mさんは、これまで様々なご経験を積んでこられ、今もご自身の障害やご病気と向き合い続けています。障害や病気がありながら働き続けることは、日々ご本人がありとあらゆる工夫をしている上に成り立っていることをお感じいただけましたでしょうか？インタビューでのT.Mさんの言葉一つひとつが、どのように紡ぎ出されてきているか…その背景を想像すると、つくづく「凄いことだな」と考えさせられます。

さて、障害や病気の波が少なからずある状態で働き続ける方のことは、障害や病気を経験したことがない人にはなかなか分かりづらい部分もあると思います。今回のT.Mさんのインタビュー全体を通して見えてきたこととして、雇われる側の努力と、雇う側の理解しようと努める姿勢を前提に、それぞれが歩み寄ることではないでしょうか。現場で共に働く方々が日頃から一緒に創意工夫をし続けていくことが、何より大切だと教えてくださっているようでもありました。

最後になりましたが、いつもサポートいただいています企業のご担当者様に御礼を申し上げます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。